



運動会まで約3週間！！子どもたちは元気に練習開始！！

家庭でも、子どもたちの頑張りを応援してくださいね！！

2学期が始まって2週間が過ぎました。コロナ禍のために全員が揃って十分な練習ができていませんが、子どもたちは運動会の練習に毎日頑張っています。しかしながら、本年度の運動会は、コロナ禍での運動会となりますので、感染の拡大を防ぐために、時間を短くしたり、参観者の人数を昨年度より制限したりすることも現在、検討中です。

詳細が決まりましたらお知らせいたしますが、例年の運動会からすると小規模になることも予想されますのでご理解ください。

それでも、かけっこやマーチングや踊りやダンスなどはなんとかプログラムに残して、子どもたちの活躍の様子をお母さんお父さん方にぜひ見ていただきたいと考えています。

一つの目標に向かって努力していくこと、友だちと協力して何かを成し遂げること、自分の感情をコントロールする力を持つことなどは、遊びや運動会の練習などを通して身につけていきます。これらの力は、「非認知能力」と言われ、将来の幸福な生活のために乳幼児期において最も身につけなければならない力と言われていています。お父さん、お母さん方がいっしょになって、練習したり励ましたりすることで、子どもたちはこれらの力と自信をさらに身につけていくと思います。家庭でも、子どもたちの頑張りを励ましてください。そして、たくさんの園行事がある2学期、いっしょになって成長を喜び合える2学期にしていきましょう。コロナに負けないぞ！！



2学期の始業式での子どもたちへの願い！！

始業式の日には、「友達が困っていたら助ける優しい子どもになろう」といつも繰り返して話をしていたのですが、今回は、いろいろな場面で「ありがとう」が言えるようになろうという話をしました。

おしっこ漏れそうだった！！

園長先生が、ドライブをしていた時、急におしっこをしたくなってね。コンビニエンスストアに飛び込んだの。ところが、もう先に待っている人がいてね。園長先生は我慢ができないでモジモジしていたら、「お先にどうぞ」と言って順番を譲ってくれたの。園長先生はお漏らししなくてよかったので「本当にありがとうございます」と言って何度もお礼を言ったの。その人もにっこりしてくれたのでとても嬉しかった！ みんなもお友達に親切にされたら「ありがとう」と言えるかな？

親切にされたら素直に「ありがとう」を言うと、自分も親切をしてくれた人も嬉しくなるね。」という話をしました。2学期も困っている人がいたら助け、親切にされたら「ありがとう」と言える子どもたちになってほしいと願っています。

社会生活を営む上で「ありがとう」と言える習慣は、挨拶と同じように幼児期にこそ身につけさせたい人生における最も基本的なマナーではないかと考えています。園と家庭といっしょになって子どもたちが挨拶と感謝の言葉がかっこよくできるように取り組んで参りましょう。

新しい先生の紹介 よろしくお祈りします！

6月1日から中島 紀子先生がつぼみ組で、9月1日から平山 夕貴先生がもも組で補助をしていただいています。お二人の先生とも経験豊かで元気いっぱい先生方です。さらに、個に応じた子どもたちへの支援ができるのではないかと考えています。いつも園へのご協力ありがとうございます。

